

# ア ジ ア 室 通 信

2019年2月

92号



## CONTENTS

### 【特集】

- Amazing Thailand 1  
タイ国政府観光庁 マーケティングマネージャー 藤村 喜章 氏

### 【みなと銀行からのお知らせ】

- 「20周年記念キャンペーン みなと外貨定期預金」のご案内 6

### 【アジアビジネス情報】

- アジアニュース・主要経済指標 7

## みなと銀行 国際業務部アジア室

1. 本資料記載の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。2. 著作権 本誌記載の情報の著作権は原則として弊行に帰属します。いかなる目的であれ、本誌の一部または全部について無断で、いかなる方法においても複製、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。3. 免責 本誌記載の情報は、弊行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡無しに変更されることもあります。弊行は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何にかかわらず一切責任を負いません。また、本稿の中で、意見にわたる部分は、筆者の個人的意見であり、筆者の所属する組織の見解を代表するものではありません。

# Amazing Thailand

タイ国政府観光庁 マーケティングマネージャー  
藤村 喜章

2019年は日本にとって新しい時代の幕開けとなる年です。旅行業界もよりFIT（海外個人旅行）化が進み、「どのように旅行の面白さを海外旅行経験のない人に啓蒙していくか」を考えることが必要な年となるのではないのでしょうか。

日本における、2018年1月から10月までの海外への渡航者数は15,651,100人で前年比5.2%増となり、1,800万人に到達できるかが課題です。また、同期間のタイへの渡航者数は、全体で31,253,920人、同7.8%増、内日本人渡航者数は1,353,301人で同6.8%増と好調を維持しています。同様に、タイ人の訪日者数は900,900人で同16.0%増となり、100万人を超える見込みです。日タイ間の動きは、タイ人需要が加速し、日本人需要は少しずつですが、増加している状況です。12月にはタイ・ライオンエアーがバンコクー成田間に就航しており、タイの座席供給量も増えています。日本以外の国で、タイへの渡航者が100万人を超えている国は下記の通りです。

国名	人数	増減(%)
中国	9,022,192	+10.3
マレーシア	3,179,769	+12.7
韓国	1,466,676	+4.8
ラオス	1,446,835	+4.9
インド	1,287,978	+11.2
ロシア	1,101,679	+11.7

資料) タイ入国管理局

タイにおける1-10月の国別観光収入については、日本は58,734.8百万バーツで前年比8.3%増でしたが、日本より多い国は下記の通りです。

国名	収支(百万バーツ)	増減(%)
中国	494,952.2	+12.9
マレーシア	88,629.8	+15.8
ロシア	88,671.9	+20.9
韓国	66,365.2	+6.0
アメリカ	66,049.4	+12.4
イギリス	62,918.5	+5.5

資料) タイ観光・スポーツ省

欧米人は、渡航者数は少ないが、平均滞在日数が10日以上なので消費額も多いと推測されます。

こうした中で、日本人のタイへの渡航者増加に寄与すべく、11月はロングステイ財団主催のロングステイフェアに参加し、12月には新潟でタイ女子会を開催、また札幌でエアアジアと旅行会社向けセミナーを実施いたしました。

今回は、11月20日から日タイ・ビジネスフォーラムと共催したチェンマイ、メーホンソーン、ランパーン、ナコーンサワン1,300kmの旅について紹介します。ロイクラトンの時期で、フライトの欠航、遅延が増えるため、バンで移動しました。

初日、羽田からバンコク経由チェンマイへ。ロイクラトン祭りで日本から多くの旅行者が同乗していました。特に、コムロイをあげるイベントは人気です。

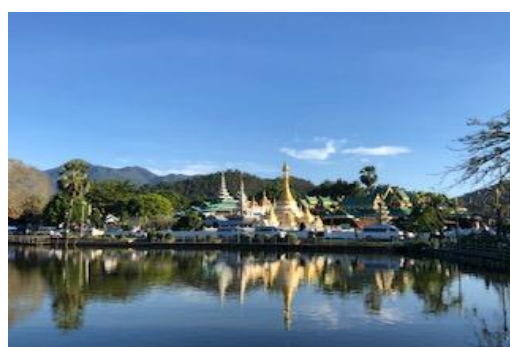
2日目、チェンマイからパーイを経由して、メーホンソーンに移動。パーイは多くの欧米人に人気がある街です。郊外では山でエコアクティビティができ、市内は自転車などで回れるくらいコンパクトで、多くのカフェやレストランがあることが人気の理由です。また、第二次大戦下に日本軍がチェンマイとメーホンソーンへ進軍する道を建設した際に、ターパ村の人々と作った橋が「メモリアルブリッジ」として残っています。途中見晴らしの良い休憩所やフィッシュケープ（魚洞窟）に寄り、メーホンソーンに到着。ホテルにチェックインし、同じ敷地内にある「ワット・チョンカム」と「ワット・チョンクラーン」を見学し、「ワット・プラタート・ドイ・コンムー」で熱風船をあげて、夕日を鑑賞しました。



「メモリアルブリッジ」



「フィッシュケープ」



「ワット・チョンカム」  
「ワット・チョンクラーン」



「ワット・プラタート・ドイ・コンムー」

3日目、モーニングマーケットを散策し、メーホンソーン県クンユーム郡に移動。途中慰霊碑で祈祷し、「タイ日友好記念館」、「ワット・ムアイトー」を見学。昼食後「バーン・ムアンポン」でのタイヤイ族の帽子作りや刺繍を見学し、村の病院にてハーバルマッサージを体験。その後に、ブアトーンと呼ばれるメキシカンサンフラワー（メキシコひまわりで、ニトベギク属の植物）で覆われている「ドイ・メー・ウコー」を夕日の中で見学。



「タイ日友好記念館」



「ワット・ムアイトーにある日本兵記念碑」



「ドイ・メー・ウコー」



4日目、僧侶が畑を渡る時に小さな生き物を殺してしまうので、村人がそれぞれの家の柱を提供して作った橋といわれている「ズー・トン・ペー橋」を見学し、托鉢。メーホンソーンの秘宝「パーンウン湖」を見て、「ワット・プラノーン」へ移動。さらに山越えてランパーンへ移動。



「ズー・トン・ペー橋」



「パーンウン湖」

5日目、ランパーンから一気に366km離れたナコーンサワンへ移動し、「ワット・テウナム」にて、元獣医大尉井上朝義氏が、終戦直後に連合軍の命で射殺した軍馬のために建立した慰霊碑を慰問。その後、バンコクへ向けて移動し、空路羽田へ。



「ワット・テウナム」

この旅で、日本軍とクンユアムの人たちの友好関係や悲しい物語を知ることができました。当庁で行っているキャンペーン「こんなタイ、知らなかった。」にふさわしい旅のように思えました。

今回の12の秘宝都市プラスは、ラーチャブリー県との関連でスパンブリー県です。スパンブリー県は、カンチャナブリー県に隣接し、バンコクから西北に約100kmのところであり、米などの農産物や淡水魚の産地として知られ、長い歴史を持っています。見どころとしては、1593年ナレースワン大王がタイの独立を勝ち取った記念に建てたドン・チェディ記念塔です。また、タイで唯一の仰向け涅槃像が安置されている「ワット・プラノン」があり、お寺のわきには約10万匹の淡水魚が泳ぎ、貴重な魚の保護地域になっています。この他に、1994年にタイで初めて造られたタワーである、123.25mのバンハーン・ジャムサイ・タワーがあります。特産品としては、ピンクや緑などのカラフルな色をした香りのよい蒸しケーキが知られています。



「ドン・チェディ記念塔」

# プロフィール

執筆者： **藤村 喜章**（ふじむら よしあき）

中央大学卒業後、2年間企業に勤務し、南イリノイ州立大学大学院に留学  
帰国後旅行会社を経て、1999年タイ国政府観光庁へ入庁、現在に至る。  
総合旅行業務取扱管理者資格を所持。

## 公益財団日本タイ協会

日本とタイの友好親善を目的とし、タイに関する情報提供、日・タイ両国間の  
相互交流・研究の支援、タイで日本語を学ぶ学生への日本語教材の寄贈などの  
活動をしている公益財団法人。

1927(昭和2)年に設立された「暹羅協会」と1935(昭和10)年に設置された  
「三井合名暹羅室」が1967(昭和42)年に合併し、「財団法人日本タイ協会」  
となり、現在に至る。

会長は北山禎介(株)三井住友銀行名誉顧問、理事長は中山信夫三井倉庫ホール  
ディングス(株)代表取締役専務取締役。

バンサーン・ブンナーク駐日タイ大使のほか、歴代の駐タイ日本大使が顧問として  
協会の活動に協力している。

以上

## 20周年記念キャンペーン



# みなと外貨定期預金

**申込期間** 2019年1月4日(金) ▶ 2019年4月26日(金)

みなと銀行で円から新たに外貨定期預金

10,000米ドルまたは10,000オーストラリアドル

お預け入れいただいた方に



**もれなく** 兵庫県産のお肉をプレゼントいたします。

**預入期間：6ヵ月(自動継続のみ)** ※満期・解約時のドル普通預金への振替、外貨送金等、円貨への両替が伴わない取引はできません。

○ご本人さまがご来店の上、または営業担当者経由で外貨定期預金お申込みをお手続きください。新規に口座を開設される場合は、ご本人さまを確認できる書類とご印鑑をご用意ください。○お取扱時間は午前10時から午後3時までです。○ダイレクトバンキング(インターネットバンキング)、海岸通支店、神戸ポート支店、住宅ローンプラザではお預け入れできませんのでご了承ください。○中途解約は原則お取扱いできません。やむを得ず中途解約された場合、中途解約日における当行の当該通貨の普通預金利率が適用されます。また、初回満期日までに中途解約された場合の為替手数料は米ドル・オーストラリアドルとも1円となりますのでご注意ください。○満期日までに継続を停止する申し出がない場合には、満期日に取引後の満期元金と同じ預入期間で自動的に継続します。○本定期預金および商品は予告なく変更することがあります。詳しくは各店頭窓口までお問い合わせください。○その他のキャンペーン、特別商品との併用はできません。○お客さまが本申込書に記入される個人情報(お名前、住所、電話番号等)は、商品発送にかかる業務の目的以外で利用いたしません。○詳しくは店頭にてご用意している説明書(契約締結前交付書面等)をご覧ください。

### 外貨定期預金に関するご留意事項

- 外貨預金は預金保険の対象ではありません。また、クーリングオフの対象ではありません。●外貨預金には、為替変動リスク[為替相場の変動により、お引き出し時の受取元金円貨額がお預け入れ時の払い込み円貨額を下回る(円貨ベースで元本割れとなるリスク)]があります。●円を外貨に交換する際の相場<TTS相場>(お預け入れ時の相場)および外貨を円に交換する際の相場<TTB相場>(お引き出し時の相場)は為替手数料(米ドル、オーストラリアドルいずれも1通貨あたり片道50銭(往復1円))が含まれています。やむを得ず初回満期日までに中途解約される場合のお引き出し時の相場には、米ドル・オーストラリアドルとも1円が含まれます。●お預け入れまたはお引き出し金額が10万通貨単位以上となる場合には上記のTTS相場またはTTB相場に代えて、市場実勢相場を基準として当行が別途定める相場を適用します。●為替相場に変動がない場合でも、往復の為替手数料(米ドル、オーストラリアドルいずれも1通貨あたり1円、初回満期日までの中途解約時は米ドル、オーストラリアドルとも1円50銭)がかかるため、お引き出し時の受取元金円貨額がお預け入れ時の円貨額を下回る(円貨ベースで元本割れとなる)ことがあります。●為替差益への課税は総合課税になりますので雑所得として確定申告が必要となります。ただし、年収2,000万円以下の給与所得者の方で給与および退職所得以外の所得が為替差益を含めて年間20万円以下の場合には申告が不要です。●2013年1月1日～2037年12月31日までに受け取る利息については、復興特別所得税が追加課税され、20.315%の税金がかかります。

## アジアニュース・主要経済指標

### 【ベトナム】

ベトナム国家銀行(中央銀行)は、金融機関相互の株式持ち合い解消を狙いとし、金融機関の主要株主とその他血縁者の株式保有を2020年末以降、5%以下とする旨の通達を発出した。

### 【インドネシア】

同国重機産業協会(Hinabi)は、2018年の国内重機生産台数が前年比42.3%増の7,981台であったと発表した。一方で2019年の生産目標は石炭価格の低下により鉱業部門での重機需要の縮小が見込まれることから前年を下回る7,000台とした。この石炭価格の下落を受け、Hinabiは2019年の重機需要が建設や林業など他部門に移行する可能性があるとみている。

### 【シンガポール】

同国保健相によると、政府が大胆で断固たる糖尿病対策措置を講じる必要があることを表明した。現在の糖尿病の成人患者者の割合は、インド系17.2%、マレー系16.6%、中華系9.7%。今回の発表により糖分の少ない玄米の売上が伸びるなど、健康的な食生活が促進されることが期待されるとしている。

### 【タイ】

欧州連合(EU)がカンボジアとミャンマーからの近年のコメの輸入急増に対して今後3年間に關稅の賦課を開始したことを受け、タイ・コメ輸出業協会は同国の2019年のEU向けコメの輸出量が前年比5%程度増加するとの見通しで、今後2年間はタイにとってEU向け輸出を拡大するチャンスとなる考えを示した。

### 【タイ】

バンコク市内で私立病院を運営するプリンシパル・ヘルスケアは同市内に高齢者向け介護施設を建設、2020年の工事完了を目指す。また、2022年までに総額110億バーツを投じて運営する病院網を20カ所(病床数2,000床)まで拡充する。

### 【中国】

同国ニュースサイトによると、同国インターネットサービス大手の網易が傘下の越境EC(電子商取引)モールで人気の商品を集めた実店舗を浙江省杭州市で初出店し、年内には中国全土で15カ所に展開する目標であることを報じた。店舗では化粧品、スキンケア、育児用品、デジタル家電、スポーツ用品のうちカスタマーレビューの高い商品3,000点を並べ顧客データを収集、各店舗所在地での人気商品も追加していくという。



■通貨（対ドル為替相場、年末・月末時点相場）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
	JPY	CNY	HKD	KRW	TWD	SGD	THB	MYR	VND	IDR	PHP	INR
2016年12月	116.96	6.9502	7.7559	1,207.82	32.254	1.4468	35.799	4.4862	22,761	13,473	49.730	67.9250
2017年12月	112.69	6.5067	7.8140	1,070.65	29.800	1.3360	32.580	4.0465	22,698	13,568	49.920	63.8713
2018年10月	112.94	6.9758	7.8415	1,139.85	30.966	1.3857	33.155	4.1842	23,344	15,203	53.535	73.9550
11月	113.57	6.9590	7.8240	1,120.80	30.844	1.3724	32.885	4.1842	23,320	14,302	52.450	69.5837
12月	110.27	6.8780	7.8306	1,115.85	30.711	1.3663	32.548	4.1540	23,175	14,568	52.580	69.9463
2019年1月	108.89	6.7004	7.8467	1,112.75	30.736	1.3456	31.240	4.0953	23,201	13,973	52.120	71.0850

■株価（年末・月末時点相場）

※台湾は1月31日休場の為、1月30日の値を記載

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
	日経平均 株価	上海総合 指数	香港 恒生指数	韓国総合 株価指数	台湾加権 指数	ST指数	SET指数	クアラルンプール 総合指数	ベトナムVN 指数	ジャカルタ 総合指数	フィリピン 総合指数	NIFTY 指数
2016年12月	19,114.37	3,103.64	22,000.56	2,026.46	9,253.50	2,880.76	1,542.94	1,641.73	664.87	5,296.71	6,840.64	8,185.80
2017年12月	22,764.94	3,307.17	29,919.15	2,467.49	10,642.86	3,402.92	1,753.71	1,796.81	984.24	6,355.65	8,558.42	10,530.70
2018年10月	21,920.46	2,602.78	24,979.69	2,029.69	9,802.13	3,018.80	1,669.09	1,709.27	914.76	5,831.65	7,140.29	10,386.60
11月	22,351.06	2,588.19	26,506.75	2,096.86	9,888.03	3,117.61	1,641.80	1,679.86	926.54	6,056.12	7,367.85	10,876.75
12月	20,014.77	2,493.90	25,504.20	2,041.04	9,727.41	3,053.43	1,563.88	1,692.07	892.54	6,194.50	7,466.02	10,859.90
2019年1月	20,773.49	2,584.57	27,942.47	2,204.85	9,932.26	3,190.17	1,641.73	1,683.53	910.65	6,532.97	8,007.48	10,830.95

■政策金利（年末・月末時点）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
	無担保 コール翌日	CHLR12M Index	HKBASE Index	KORP7DR Index	TAREDS Index	中銀SFBR	BTRRIDAY Index	MAOPRATE Index	VNREFINC Index	IDBIRATE Index	PPCBOND Index	INRPVLD Index
2016年12月	▲0.058	4.350	1.000	1.250	1.375	1.170	1.500	3.000	6.500	6.500	3.000	6.250
2017年12月	▲0.062	4.350	1.750	1.500	1.375	2.150	1.500	3.000	6.250	6.500	3.000	6.000
2018年10月	▲0.068	4.350	2.500	1.500	1.375	2.200	1.500	3.250	6.250	6.500	4.500	6.500
11月	▲0.062	4.350	2.500	1.750	1.375	2.550	1.500	3.250	6.250	6.500	4.750	6.500
12月	▲0.055	4.350	2.750	1.750	1.375	1.910	1.750	3.250	6.250	6.500	4.750	6.500
2019年1月	▲0.060	4.350	2.750	1.750	1.375	2.650	1.750	3.250	6.250	6.500	4.750	6.500

※日銀は金融市場調節を2013年4月よりマネタリーベースに変更。コール市場加重平均レート(短資協会発表)を参考記載。

※シンガポールは金融市場調節を為替レートにより実施。中央銀行翌日物貸出金利(Standing Facility Borrowing Rate)を参考記載。□

■実質GDP成長率（前年比、前年同期比）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
2016年	0.60	6.70	2.20	2.90	1.51	2.38	3.30	4.20	6.21	5.03	6.90	8.00
2017年	1.93	6.80	3.80	3.10	3.08	3.60	3.90	5.90	6.81	5.07	6.70	8.20
2018年4-6月	2.80	6.70	3.50	2.80	3.29	1.40	4.60	4.50	7.08	5.27	6.20	8.20
7-9月	▲2.50	6.50	2.90	2.00	2.27	3.50	3.30	4.40	6.98	5.17	6.00	7.10
10-12月		6.40		3.10	1.76	1.60			7.08		6.10	

※空欄は数値算定中

■CPI消費者物価指数（前年比、前年同月比）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
2016年	▲0.13	2.01	2.42	1.00	1.39	▲0.53	0.19	2.09	4.74	3.53	1.26	4.96
2017年	0.48	1.55	1.48	1.90	0.62	0.59	0.67	3.88	2.60	3.81	2.86	3.33
2018年10月	1.40	2.50	2.70	2.00	1.17	0.70	1.23	0.60	3.89	3.16	6.70	3.38
11月	0.80	2.20	2.60	2.00	0.30	0.30	0.94	0.20	3.46	3.23	6.00	2.33
12月	0.30	1.90	2.50	1.30	▲0.05	0.50	0.36	0.20	2.98	3.13	5.10	2.19
2019年1月				0.80			0.27		2.56	2.82		

※空欄は数値算定中

(出所) 各国(地域)統計, 政府発表, ブルームバーグ

## みなと銀行上海駐在員事務所

中国長江デルタ経済圏へ進出をされている、または、今後進出や投資をご検討されている  
お客さまのサポート

上海駐在員事務所では、このようなサービスをご提供しております。

- 中国の金融経済等各種情報の提供
- 中国企業及び日系・外資系企業の動向調査
- お客さまの中国進出に関する情報の提供



中華人民共和国上海市銅仁路 195 号 中欣大厦 3312 号室  
TEL. 86-21-6289-8080 FAX. 86-21-6289-8608

みなと銀行 上海駐在員事務所 所長 野田 啓介

2018年4月に上海駐在員事務所長に就任  
致しました野田でございます。

みなと銀行上海駐在員事務所は、2007年4月  
に開所し、日本からの派遣社員1名、ローカルス  
タッフ1名の計2名体制で業務にあたっています。

当上海事務所では、中国に進出されているお  
客さまへの商談会等の情報発信や、セミナーの  
開催などによる海外ビジネス支援を行ってしま  
す。

ご要望等ございましたら当上海駐在員事務所  
までお気軽にご相談下さい。



お問い合わせ先

みなと銀行国際業務部アジア室



〒651-0193神戸市中央区三宮町2丁目1-1

TEL. 078-333-3283

FAX. 078-331-5845